

## 水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年10月16日
タイトル	給食米を収穫したよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年10月5日（月）福山市立東村小学校全児童46名と福山市立東村保育所児童19名が、福山市東村町のほ場で農業体験をしました。

このほ場は、学校給食食材納入グループ「若草会」が管理している学校農園で、約20aのほ場で若草会の会員で水土里ネット福山の組合員 かいのあきのり 廻野明倫さんが主に管理され、東村小学校と東村保育所の一年間の給食に使うお米を栽培しておられます。

6月に田植えの農業体験をした子ども達は、この4か月間稲の成長を見守っていたようで、稲刈りを楽しみにしていたようです。秋を感じさせる爽やかな風のなか、稲刈りの農業体験をすることとなりました。



手作りの案山子が見守る学校農園



準備万端！子ども達が歩いてきました

まず、学校給食食材納入グループ「若草会」代表の すぎはらなおみち 杉原直道さんより挨拶があり「今年は稲刈りをするには少し早いですが、はぜ掛けをしておけば大丈夫」と言われました。

つぎに、福山市教育委員会 三好雅章教育長が「自分達で田植えや稲刈りをした米を給食で食べることができるのは非常に素晴らしいことであり、若草会、保護者、地域の方が、みなさんにこのような体験をさせてあげたいという強い気持ちでこの取組みをしておられることを考えて稲刈りをしてください」と挨拶されました。

子どもを代表して児童会副会長の挨拶では「田んぼの様子を何度も見て、生育を心配していたことや稲が立派に成長し若草会の皆さんへ感謝の気持ちと新米を食べるのが待ち遠しい」と気持ちを伝えてくれました。



杉原さんより、鎌は地面と平行にして手前に引くように切るなど、鎌の使い方を教えていただきました。

杉原さんがこの4年間子ども達が一度もケガをすることがなかったのは、稲刈りを真剣にしているからとおっしゃったのが印象的でした。

いよいよ稲刈りです。子どもが使いやすい小ぶりの鎌を持って、高学年の4から6年生が一行に並んで田んぼへ入ります。少しぬかるんでいるところもありましたが、子ども達は躊躇なく田んぼへ入り、とても楽しそうに稲を刈り始めました。5、6年生は慣れた手つきで、ザクザクと小気味よく刈っていきます。4年生も最初はぎこちない手つきでしたが、すぐに上手になっていきました。杉原さんも言うておられたように、子ども達が真剣に稲刈りをしていて、ふざけたりケンカしたりしないのでケガもしないし、上達も早いのだと思いました。



若草会や地域の方も一緒に稲を刈ったり、はざ掛けにするため稲を束にしていきます。

大村校長先生や三好教育長も一緒になって稲刈りをしておられました。三好教育長は飛入り参加で、小学生の頃にしたきりだと言っておられましたが、慣れた手つきで、ザクザクとあっと言う間に刈っておられました。

田植えの時に子ども達が手で植えたところは、機械で植えたところより元気に育っていて境界線ができていました。手で植えたところを稲刈りしようという事になり、ほ場の4分の1を手で刈りました。

途中から保育所の年長組も鎌を持って稲刈りに参加しました。先生や保護者の方も加わり、上手に稲刈りをしていました。年中・年少組は稲の飾りをもって応援していました。



がんばれ！かわいい応援団です♪



初めての稲刈り。真剣な表情です！

刈った稲は束にしてはざ掛けにしていきます。はざ掛けにする土台は竹を3本縄で縛ったもので、この3本足を稲の株の上にして沈まないようにすると倒れにくいそうです。最近では、はざ掛けにすることが少なくなって、こうしたコツも段々と分からなくなっていくと話しておられました。



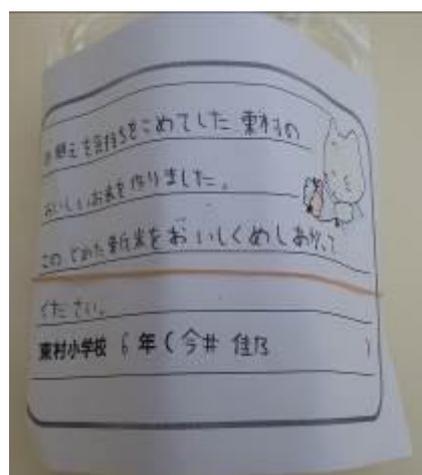
低学年の子ども達も一斉に田んぼへ入って稲を運んだり掛けたり、みんなで汗を流しました  
ちなみに、福山地方では「はざ掛け」のことを「はぜ掛け」「はで掛け」と言います

はざ掛けが全部終わると農業体験を終わりました。大村校長先生より「田植えや稲刈りの貴重な体験をさせて  
いただいている若草会や地域の方へ感謝すること、毎日の給食でお米を食べる時、この収穫の喜びと感謝の気持  
ちを思い出し、大切に食べること」についてお話されました。

その後、子ども達へは給食として新米を使った大きなおむすびが配られました。地域の方々には若草会から同  
じ新米を使ったおむすび弁当が配られました。このおむすび弁当には東村小学校児童会のメッセージが添えられ  
てあり、子どもも大人も一緒に稲刈りをした田んぼを見ながら大きなおむすびをほおばりました。新米のおむす  
びはとってもおいしかったです。



若草会や地域みなさんに感謝して、合掌



心のこもったメッセージ

今回の取材では、東村町の地域全体で子ども達を慈しんでおられる様子や子ども達が農業体験を通じて、日々  
の生活を生きいきと送っている様子を見ることができました。また子ども達が地域の方に素直に感謝しているの  
が伝わり、とても温かい気持ちになりました。

東村小学校では、収穫した米を使って子ども達が調理実習をし、若草会や地域の方を招いて「感謝祭」をする  
そうです。ぜひ取材したいと思います。